

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4073600308		
法人名	社会福祉法人 豊資会		
事業所名	グループホーム花梨		
所在地	福岡県古賀市花見南2丁目14-15		
	電話 092-940-7200	FAX 092-942-1450	

評価機関名	特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポート うりずん		
所在地	福岡県直方市古知1丁目6番48号		
訪問調査日	平成20年8月4日	評価確定日	平成20年9月9日

【情報提供項目より】(平成20年 7月 24日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 10 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 9 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 9.4 人	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての	2 階 ~	2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70000円(光熱費含む)	その他の経費(月額)	
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含)	120,000円	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(7月24日現在)

登録人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 74 歳	最高 93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人豊資会加野医院 江藤歯科医院 やまびこ診療所
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム花梨は、近隣に母体医療機関がある静かな住宅街の一角にあり、一階でデイサービスを提供しているマイハート花梨の2階に開設された一ユニットのグループホームである。母体法人である「豊資会」は、地域に多様な医療・福祉サービスを展開しており、「迅速・正確・気配りをモットーに、自分や家族がここから利用したいと思える医療・福祉サービスを提供する。」を基本理念としている。協力医療機関と24時間の相談連絡体制によるケアとケアの連携を謳い、重要事項説明書に重度化した場合の対応に係る指針を明記し、終末期まで支援できる事を伝えている。昨今、入居者が終末期に至る経過の中で家族や主治医等と話し合いを重ね、ターミナルケア依頼及び承諾書を取り交わし、看取りに関わっている。その経過記録を全職員に周知することで、さらなるケアの向上を目指しており、重度化する入居者を抱えるグループホームの先達として今後の活躍が期待される。また、運営者はホームにおける「介護基本10ヶ条」「職員に求められる原則10カ条」の具現化のみならず入居者の重度化や終末期の支援には、職員がいきいきと働ける職場環境の整備が重要であることから、職員雇用契約書・就業規則を整備し、定期健康診断、育児休暇・年次有休休暇取得を奨励するとともに、能力開発カードを活用した職能給制度を設けている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果に沿って、地域密着型サービスの方針を運営規程や重要事項説明書に明記したり、高齢者虐待防止に関するマニュアルを整備している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が評価の意義を理解し、自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議実施要綱を整備し、委員に委嘱状を交付している。2ヶ月毎に開催している会議では、ホーム行事や外部評価結果を報告し、委員から要望や意見等を伺っている。また、会議の形骸化を防ぐため、時には入居者と食事やおやつを一緒に摂り、ホームの現状の一層の理解につなげている。出席者の意見等はQ&Aで議事録を整備し、もよりの介護保険係に報告書を提出している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	家族に毎月発行しているホームたよりを送付する折に、入居者の状況を個別に報告している。また、家族が来訪した折にも、ホームでの暮らしぶりを報告している。医療機関受診記録表に家族連絡欄を設け、随時報告している。職員の異動は家族会等で報告している。預かり金はなく、利用料支払い時に立替金の支払いをお願いしている。成年後見制度を活用している入居者もあり、運営推進会議で制度を理解したいとの要望もあることから、年間研修計画に組み入れている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区自治会に加入し、敬老会の案内をもらっている。毎月2回、近隣で開催されている童謡教室に参加したり、地域運動会やお祭りに参加している。近隣からの入居者が顔馴染み宅でお茶を一緒にしたり、散歩で挨拶を交わしたりしている。地域住民を対象にして法人運営の介護センターやふれあいセンターで介護予防教室等を開催している。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの方針を運営規程に明記し、法人理念、ホーム独自の方針、介護基本10ヶ条をホーム入り口や共用空間に掲示している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼で、法人理念を唱和したり、申し送り時に介護基本10ヶ条を確認している。より具体的に「職員に求められる原則10カ条」を定め、年度ごとに見直すなど、理念を日々のケアに活かす取り組みをしている。介護基本10ヶ条を具現化した介護計画を作成している。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区自治会に加入し、敬老会の案内をもらっている。毎月2回、近隣で開催されている童謡教室に参加したり、地域運動会やお祭りに参加している。近隣からの入居者が顔馴染み宅でお茶をご一緒したり、散歩で挨拶を交わしたりしている。	○	地域の行事等に参加する取り組みはすすんでいるので、今後は階下のデイサービスと合同で、参加している童謡教室での成果を披露するなど、近隣の方々をお誘いしできる行事の企画を検討されてはどうか。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義を理解し、自己評価に取り組んでいる。前回の外部評価結果に沿って、地域密着型サービスの方針を運営規程や重要事項説明書に明記したり、高齢者虐待防止に関するマニュアルを整備している。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議実施要綱を整備し、委員に委嘱状を交付している。2ヶ月毎に開催している会議では、ホーム行事や外部評価結果を報告し、委員から要望や意見等を伺っている。また、会議の形骸化を防ぐため、時には入居者と食事やおやつを一緒に摂り、ホームの現状の一層の理解につなげている。出席者の意見等はQ&Aで議事録を整備し、もよりの介護保険係に報告書を提出している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が毎月ホームの入居状況を市担当者に報告するなど、市と連携しながらホーム運営に取り組んでいる。法人全体で地域住民を対象にして介護センターやふれあいセンターで介護予防教室等を開催している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者と職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会をもち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるように取り組んでいる。	管理者は成年後見制度等の研修会に参加し、研修資料を職員に配付している。成年後見制度や地域権利擁護事業のパンフレットを整備している。制度を活用している入居者もあり、運営推進会議で成年後見制度を理解したいとの要望もあることから、年間研修計画に組み入れている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族に毎月発行しているホームたよりを送付する折に、入居者の状況を個別に報告している。また、家族が来訪した折にも、ホームでの暮らしぶりを報告している。医療機関受診記録表に家族連絡欄を設け、随時報告している。職員の異動は家族会等で報告している。預かり金はなく、利用料支払い時に立替金の支払いをお願いしている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームや公的機関の意見・苦情窓口を重要事項説明書に明記し、玄関に意見箱を設置している。年3回開催している家族会の前に要望や満足度アンケートをお願いしたり、運営推進会議でも家族から意見を伺っている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本年、7月に同法人のグループホームと管理者の交代があったが、入居者や家族に報告することで不安解消に努めている。職員の希望や特性に応じた勤務体制を取り入れたり、職能給制度の実施で離職を防止している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表及び管理者は職員の募集・採用にあたっては性別や年齢を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	職員採用はハローワークを活用している。雇用契約書を取り交わし、就業規則を整備している。職員の定期健康診断の実施、育児や有休休暇取得の奨励、職能給制度を実施している。さらに職員の休息場を確保し、納涼会や忘年会を行い、職員同士の親睦やストレス解消に努めている。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	介護基本10ヶ条や職員に求められる原則10か条を整備して、入居者の人権や尊厳を重んじたケアを実践している。運営規程や重要事項説明書に身体拘束について明記し、身体拘束・高齢者虐待防止マニュアルを整備している。倫理規定を整備し、職員の守秘義務を謳っている。ホームの入り口には、認知症の方の理解を促す文章を掲示している。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本年度の研修計画に沿って、法人内外の研修参加を促したり、資格取得を支援している。職能給制度を実施し、職員が能力開発カードに掲げた各自の目標達成状況について、定期的に管理者が面接している。職員の悩みは、管理者が対応している。		
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県グループホーム協議会に加入し、研修会に参加している。研修時に他のグループホームと交流している。また、同法人運営のグループホームと共催で内部研修会をひらき、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同法人が運営する他の介護サービス利用から入居に至る場合が多く、情報を共有している。入居の前に本人・家族等にホームを見学していただき、生活暦・職歴等のアセスメントでおしゃれな入居者には以前から使っていた鏡台を置く等の居室づくりをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は日々、介護基本10ヶ条や職員に求められる10ヶ条を申し合わせることで、入居者と共に過ごし支えあう関係を築いている。職員の家庭生活のエピソードに先輩としての助言があることもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	東京センター方式で生活暦・職歴、日々の暮らしをアセスメントしている。入居者の生活の流れや意向を介護計画に組み入れている。		
の					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	情報が共有できるように個別の介護計画、介護記録を一つのファイルにまとめている。介護計画作成担当者は担当職員の意見を聞きながら、担当者会議や月2回のカンファレンスで、入居者や家族の意向を話し合い、介護計画を作成している。作成した介護計画を入居者や家族に説明し、了承した家族の署名・捺印を整備している。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は毎月モニタリングや評価を実施し、家族の了承を得ている。モニタリングや評価に応じて、3ヶ月毎または随時介護計画を見直し、入居者や家族に説明している。了承した家族の署名・捺印を整備している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別の外出支援や家族が同行できない医療機関への受診支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週、協力医療機関の訪問診療を受けているが、入居者が希望するかかりつけ医受診も支援している。管理者等は入居者毎に整備している医療機関受診記録を受診に持参し、内服状況等を報告している。受診状況や医師の指示は、随時家族に連絡している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居前にホームで終末期まで支援できることを説明している。重要事項説明書に重度化した場合の対応に係る指針を具体的に明記し、家族と同意書を取り交わしている。昨今、看取りに関っているが、経過記録を整備し、全職員が周知できるように回覧している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関する規程を整備し、重要事項説明書に個人情報の利用目的を明記している。倫理規程や服務規程を整備し、守秘義務を遵守している。職員は入居者の状況に応じた穏やかな対応をしている。	○	整備している個人情報保護に関する規程や、個人情報の利用目的を明記している重要事項説明書を玄関や共用空間の掲示することで、さらなるプライバシーの保護の徹底を期待します。
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の体調や生活のリズムを大切にしながら、食事の時間や食事を摂る場所を変更したり、外出に同行している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人の配食サービスを利用しているので、おやつは入居者の希望に応じたり、入居者と買物に出かけている。月1回の外食を楽しみにしている。入居者の力量に応じて、配食の盛り付けや配膳、後片付けを支援している。職員は入居者の相性や心身の状況に配慮しながら、テーブルを4つに分け、メニュー等を話題にしながら食事介助したり、持参した昼食をともに摂っている。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1回入浴を支援しているが、希望があれば毎日でも入浴できる。朝から入浴でき、個浴を支援している。入浴を拒否される場合は清拭をしたり、声掛けを工夫して入浴を促している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活暦等を活かして、食事の盛り付け、配膳、後片付け、洗濯物たたみ、屋上の菜園の水遣り等をお願いしている。また入居者作の妙を得た俳句が共有空間に掲示されている。近隣の童謡教室に通う入居者もいる。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間行事計画に沿った外出ばかりでなく、季節や天候を配慮しながら、ホーム周辺を散歩している。童謡教室の参加や外食の機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階玄関は日中は施錠はしていない。階段やエレベーターで2階に上がるとホーム入り口で、センサーを取り付けている。ホーム入り口に事務のスペースがあり、入居者の動向を見守りしている。無断外出した入居者が近隣の玄関先で話し込んだりすることもあり、近隣の理解や協力をお願いしている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人で自衛消防隊を組織している。非常災害時の連絡網や避難経路等を整備し、避難訓練を実施している。法人の近隣にある職員寮に緊急時には応援が要請できる体制づくりがある。消火器を整備し、水・缶詰等を備蓄している。	○	法人の自衛消防隊があるため、地域の人々と災害時の協力体制がとられていないが、今後は自治会に提案したり、運営推進会議で呼びかけられてはいかかでしょうか。ホームが支援を受けるだけでなく、地域の避難所として活用されることもありうるので連携を図っていただくようお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスやカロリーを考慮した法人の配食サービスを利用している。入居者毎に食事・水分摂取量を把握している。入居者の嚥下・咀嚼状態に応じて、配食メニューを一品毎にミキサーにかけ、経口摂取を支援している。毎月、体重を測定している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関周りには季節の花がプランターに植えられ、玄関ホールには椅子や顔写真入りの職員紹介が掲示されたウエルカムボードが設置されている。階段やエレベーターで2階に上がるとホーム入り口で、多目的な畳の部屋があり、置かれている鉢植えや調度品がゆったりと落ち着いた雰囲気を作っている。屋上のベランダには野菜や花などの緑がたくさんあり四季の移ろいがホームの中で感じ取れる。廊下にはソファやイス、小さなテーブルが配置され、気に入った同士や一人でくつろげる空間になっている。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入り口横に小さな障子の窓が設けられ、入居者・職員がお互いの気配や動向が感じられる。入り口には一人ひとり個性的な表札が掛かっている。馴染みの家具や写真、日用品が置かれ、自宅から鏡台を持ち込むことで、日に何度も鏡に向かい、髪を整えて、落ち着いた入居者もいる。		